

2005.4.15. by Mutsu Nakanishi



大野寺の枝垂桜



室生寺の桜



西光寺の枝垂桜



仏隆寺の千年桜

4月15日 晴れ

遅れていた神戸の桜もほぼ終わって 大阪造幣局の花見も始まるうとしています。

関西では大阪の造幣局の花見が始まると桜もおわり。

街の川沿いの堤や 公園に群れ咲く桜もいいですが、周りの緑を圧して豪快に満開の枝を広げる一本の巨樹もいい。桜を見ると福島三春で木の周りに座り込んで呆気にとられて眺めたあの豪快なお滝さん「滝桜」を思い出す。

無性に花満開の桜の巨樹を見たくなくて、関西では桜の巨樹があると聞く室生寺の山里を訪ねました。

大阪から東へ 生駒・葛城・金剛の山並みを越えて大和平野に入り、大和平野の東の壁にあたるのが 室生山群。大和川が大和盆地に流れ出る桜井からこの山の中に入り、榛原から大宇陀・室生の山里を越えて松阪・

伊勢への道が続く。今は名古屋・伊勢への近鉄電車がこの山を越えてゆく。古代から開けた街道筋であるが、山中である。この山中室生の山郷には役行者が開いた「女人高野」室生寺があり、の古くから賑わった参詣道が大和から通じていて今も古道として残る。桜の吉野山と言われるごとく役行者と桜とは深い関係があり、この室生寺への参詣道の山郷でも桜の古木が大事に守られ、今も満開の花を咲かせるという。

榛原から伊勢街道は北の大野・三本松・名張を抜けて松阪にでる阿保越の道と南側の伊勢本街道に分かれ、ちょうどその真ん中に室生の郷がある。

北側から室生寺にいたる街道の入り口 大野には室生寺の西門と呼ばれる大野寺そして南の伊勢街道から室生寺にいたる室生古道と呼ばれる参詣道の入り口 高井には室生寺の南門と呼ばれる仏生寺があり、それぞれ桜の古木が大事に守られ、春には満開の花をつけるという。また、峠越えに室生の郷に入ると室生寺・室生の郷には桜の花が咲き乱れているという。

そんな話をイメージしながら大阪から伊勢・名古屋方面 名張行の近鉄電車に乗って約1時間大和平野を通り抜け、宇陀・室生の山中に入るとすぐ宇陀・室生の中心榛原。そして次の駅が室生口大野駅。山に囲まれた郷であるが、満開の桜が迎えてくれる。



室生寺への道 2005.4.15.
東海道自然歩道から室生古道へ



近鉄 室生口大野駅と 宇陀川 大野磨崖仏



二つの伊勢街道を結ぶ室生寺への古道

東海道自然歩道 室生 室生古道

ここから 室生寺へは川沿いにバスが走っているが、同時に山道を門森峠越 6km の東海自然歩道が室生の里へと通じている。

今日のコースは大野寺から東海自然歩道を門森峠を越えて室生の里に入って、室生寺から室生の里の西光寺から室生古道 唐戸峠を越えて仏隆寺に出て伊勢本街道の高井の集落に出る。
全長約 15km の桜と新緑の古道ウォークの桜を訪ねてのハイキング コース。古代から多くの人たちが室生寺へ歩いた参詣道である。

スタートの大野寺そして石畳が残る山の古道のを登り下った室生の里で、また 室生から室生古道を峠越えた南の仏隆寺で満開の花をつける素晴らしい桜の古木に出会い、しばし見とれていました。

桜の下で酒を酌み交わす街の花見もさることながら、山の斜面をバックに大地にしっかりと寝を下ろし、大空に大きく枝を広げる満開の桜とゆったりと寝転んで対峙できる山里の桜は最高でした。

また、峠越えの山道を抜けて パッと眼前に広がった室生の里はまるで桃源郷。周囲を室生の山々に囲まれた狭い山の斜面に点々と桜と家並みがまるでパッチワークのように散らばっている。春の山里の素晴らしい景色でした。そして訪れた室生寺の五重塔。これも唖然とするほど美しい。室生寺の五重塔 塔は色々見ましたが、本当に清楚で見飽きない美しさ。

室生寺が「女人高野」と慕われるのも 「こんな素晴らしい自然の中の山郷にあって 清楚な美しさの五重塔などに惹かれるから」などと自分勝手な憶測をしています。



門森峠を下ったところで眼下に室生の里がみえる

今年は春が遅くて 桜ももうひとつ と思っていましたが、素晴らしい桜探訪が出来ました。

北側 室生口大野駅をスタートに古い参詣道を大野寺から門森峠 室生寺 そして 室生の里の西光寺から南側へ室生古道を唐戸峠を越えて仏隆寺への桜探訪のウォークの写真アルバムを区分して収録しました。
ことばなしの桜の写真アルバム どんな風に映るでしょうか・・・

2005 年春 桜アルバム 「室生古道に満開の桜古木を訪ねて」

1. 室生寺の西門 大野寺 の 枝垂桜

花の豪華さでは大野寺の枝垂れが一番。

もっとも駅近く交通の便がいいので人多く ゆったりとした風情は味わえず。

2. 古い参詣道 東海自然歩道を室生寺へ

3. 満開の桜咲く桃源郷「室生の里」と室生寺

山中を抜けて パッと眼前に広がる室生の里は山桜が点々と風景の中に溶け込む桃源郷。

訪れた室生寺の五重塔。これも唖然とするほど美しい。本当に清楚で見飽きない。

4. 室生の里 西光寺の枝垂桜 と 室生古道

街道脇で里のはずれの古びた小さな堂をひっそりと見守る枝垂桜 西光寺の桜はそんな風情。

村の人が道の反対の田圃の畦に座って、仕事やすめに桜を見入っていました。

5. 室生寺の南門 仏隆寺の山桜「千年桜」

室生の里から峠越えの山道をまだかまだかと上り詰めて峠を越えて、下を見ると山の斜面に

しっかりと根をおろし、これでもかと精一杯枝を広げて満開の花をつけている山桜の古木。

三春の滝桜で味わった驚きとその生命力を再度味わいました。

枝垂桜には風情がありますが、やっぱり堂々とした山桜が山の斜面には似合う。

よく知られた桜の古木ようですが、交通の便が悪いのか 人も少なくゆっくりと木の傍で寝転んで見ておれる。今日一番の桜でした。

1. 室生寺の西門 大野寺 の 枝垂桜



樹齡 300 年を越える大野寺の枝垂桜 2005.4.15.

2. 古い参詣道 東海自然歩道 を 室生の里へ

峠に近づくと石畳の道が残る美しい杉と桧林が続く古道



3. 満開の桜咲く桃源郷「室生の里」と「室生寺」



桜満開の桃源郷「室生の里」 里の東背後に室生山群の山々が見える 2005.4.15.

【 女人高野 室生寺 】



女人高野 室生寺 五重塔 2005.4.15.

4. 室生の里 西光寺の枝垂桜 と 室生古道



室生寺から南へ 勾配のきつい斜面に段々の室生の集落が続く 2005.4.15.



室生の集落 西光寺の桜 2005.4.15.



5. 室生寺の南門 仏隆寺の山桜「千年桜」



室生古道を仏隆寺へ 2005.4.15.



室生古道 唐戸峠の直ぐ下 仏隆寺の集落の上に出る 2005.4.15.



仏隆寺の千年桜 2005.4.15.



室生寺の南門 仏隆寺 の 千年桜 2005.4.15.